

韓国留学体験レポート

国際文化学科 21018098 廣野 董

トウミ制度について

私はトウミ制度によって、より楽しい留学生活を送ることができたと思う。最初にペアになったトウミは年の離れた男性の方だった。男性のペアだったため、色々な問題があり、トウミを変えてもらうことにした。トウミ制度は人気があるため、変更してもらうと決まってから新しいトウミが決まるまで時間がかかった。新しいトウミが決まり、同い年の女性だったため、最初から仲良くなることができた。お昼ご飯を食べた後にカフェに行ってお互いの学校生活について話をしたり、韓国の昔ながらの街並みがあるところへ買い物やカフェに行ったり、ソウルの森やNソウルタワーへ行った後に、フェギで有名で食べてみたかったチヂミを紹介してもらったり、最後には韓国のプリクラをとったりなど、韓国の文化を楽しく経験することができた。単語が難しく、話の内容を理解することが難しい時は分かりやすい単語で説明してくれたり、また、私が韓国語でうまく伝えることができないときにはゆっくり伝えるのを聞いてくれたり、とても優しいトウミと出会えて有意義な時間を過ごすことができた。好きなアイドルの話や、日常生活についてなど、お互いの国のことについて話し合うこともでき、とても楽しかった。



生活について

8月31日から韓国で生活し始めたが、寄宿舎には蚊が多く、睡眠に支障をきたすほどの多さだった。また、日本より大きく、刺された後の腫れ方も日本とは比べ物にならないほど大きく腫れるため、虫刺されの薬を持っていくことを勧める。夏が終わり、冬になっても出てくるので、蚊の対策が必要である。

ルームメイトの組み合わせも良く、NUISの学生同士でも留学生活を一緒に過ごし、協力し合うことでより仲良くなることができた。グループワークがあるときはみんなで寄宿舎のフリースペースに集まり、一緒に作業をし、協力し合うことができた。

ごみの捨て方や、トイレの使い方は工夫が必要だと思う。生ごみには虫が寄ってきてしまうため、ごみ箱を蓋つきのものにしたたり、寄宿舎のトイレはトイレットペーパーが流せず、そのままゴミ袋に捨てなければならないので、なるべく外で済ませるなど、それぞれの工夫が必要である。

またWi-Fiについては、私は留学前に携帯を新しく買い替えてしまったため、SIMを変えることができなく、外ではインターネットが使えなく、とても不便だった。Wi-Fiについては気を付けた方がいいと思う。

韓国留学をした4か月間、学校生活や、トウミとの過ごし方、放課後に路上ライブを見に行ったりなど日本ではできないような経験をすることができ、とても有意義であった為、これから行く後輩のみなさんには不安もあるかもしれませんが、希望を持って行ってほしいと思います。